

風の松原

- 一、21世紀に残したい日本の自然100選
- 一、21世紀に引き継ぎたい日本の名松100選
- 一、森林浴の森日本100選
- 一、21世紀に引き継ぎたい白砂青松100選

風の松原だより

風の松原を育てる市民の会
 会長 嶋 昭 男
 能代市上町能代ビル2F
 電話(0185)52-3456
 印刷
 (株)大 湯 印 刷
 能代市清助町2番2号
 TEL(0185)54-6633(代)

風の松原、整備事業終了

東屋、フィールドアスレチックなど

能代市が、平成4年度より整備を進めてきた「森林浴の森整備計画」が、6年度分の工事の終了をもって完成した。平成4年度の敷地造成、5年度の池の工事、芝張りなどに続いて、昨年、フィールドアスレチック十一基と、能代営林署作業員休息所跡地に東屋が設置された。



これによって水辺の広場〇・七ヘクタール、アスレチックは一・八ヘクタールが整備され、多くの市民の利用を待つだけとなっている。九年ぶりの大雪で、今年例年より遅い雪解けた。

たが小鳥のさえずりと共に、子供たちの歓声がこぼれ、林を縫うように配置されて

フィールドアスレチックは、これまで設置された遊具に、更に延長されたものであり、十五基全部回る

と、又いこの広場に居るようになっている。水辺の広場隣りにできた東屋は、木肌や緑の屋根が周囲の景色と融和し、景観を配慮したつくりとなっている。

全体としては、昭和六十二年からとりかかった、いこの広場中心としたゾーンと、平成四年、五年の水辺の広場のゾーンに、新たにアスレチックゾーンが加わった形になった。それぞれゾーンの機能的な整備、整備されたことによって、名実共にいこの広場になりそうだ。



春の訪れを待つフィールドアスレチック



旧砂防林作業所あと地に建てられた東屋(冬)

「出船」・砂防林・能代港

秋田木材通信社主幹 牛丸 幸也

へ今宵出船がお名残り惜しや
 船は見えぬ別れの小唄
 勝田香月作詞 杉山長谷夫作曲による「出船」である。その「出船」の歌碑が、日本海に面して能代港に建っている。私が事務局を預かる能代木材同友会が、昭和五十六年、創立二十周年を迎え、悲願の能代港を開港したことを祝福し、記念事業として建立を見たものである。

の歌碑を建てようと、能登義夫氏が提案、越後春輝知事や山本雄三氏を中心として、翌五十七年五月、建立された。その後、小笠原晴海氏や棚橋晴生氏の努力によって、「みんなの街の出船の集い」が開かれ、昨年の十月三十日、第六回の集いが、香月の長男勝田勝人氏を招き、開催された。

和四十五年五月、能代青年会議所主催の講演会での小畑勇一郎知事の、能代港に「一万五千」岸壁を造成するという爆弾的発言がなされたことに発する。

松林は一本も伐ってはならないという、まさに小学生の発想さへ聞かれたものだが、守る会との突き詰められた話し合いによって、できるだけ松林は伐らないで能代港を建設するという方向への歩み寄りが可能となった。

沖ぢや千鳥も泣くぞいな
 勝田香月作詞 杉山長谷夫作曲による「出船」である。その「出船」の歌碑が、日本海に面して能代港に建っている。私が事務局を預かる能代木材同友会が、昭和五十六年、創立二十周年を迎え、悲願の能代港を開港したことを祝福し、記念事業として建立を見たものである。

の歌碑を建てようと、能登義夫氏が提案、越後春輝知事や山本雄三氏を中心として、翌五十七年五月、建立された。その後、小笠原晴海氏や棚橋晴生氏の努力によって、「みんなの街の出船の集い」が開かれ、昨年の十月三十日、第六回の集いが、香月の長男勝田勝人氏を招き、開催された。

和四十五年五月、能代青年会議所主催の講演会での小畑勇一郎知事の、能代港に「一万五千」岸壁を造成するという爆弾的発言がなされたことに発する。

松林は一本も伐ってはならないという、まさに小学生の発想さへ聞かれたものだが、守る会との突き詰められた話し合いによって、できるだけ松林は伐らないで能代港を建設するという方向への歩み寄りが可能となった。



今、能代港には延々と防風ネットが張られ、砂防林はまさに一本も損傷することなく、風の松原として東洋一のスケールを誇っている。「出船」の集いの一週間前、白神山地シンポジウムに、森林生態学の最高權威で、日本モンキーセンター所長をも務めた四手井綱英京都大学名誉教授が能代を訪れたので、私は、四手井教授が秋田営林局に勤務していた当時の縁ある海岸砂防林と能代港を案内しながら、このように説明した。「これは能代港の港は世界広しといえども、能代にしか存在しないだろう、と。その能代港も、「出船の集い」に発案として参加した宮腰洋児氏によれば、今はこのように変貌を遂げている。「一万五千」岸壁の完成、重要港の指定、能代火力発電所と六万ト岸壁の完成、そして十月十九日には、マイナス十三度の大水深岸壁の起工式がおこなわれた。また、はまなす画廊やはまなす展望台など、一般市民にも親しまれる港として、整備が進められてきた。さらに能代火力



くりゃれ

暗いさみしい灯影のもとで、涙ながらに読むもの。大正九年、香月は、小樽や能代の港に思いを馳せながら筆を執った。そして、七十有余年の歳月が流れ去った。自然は、幸福を求めようとする人間の営みによって、絶えず変化を余儀なくされる。が、その中にあって、自然を变化させていきながらも、同時に人間は、時として「出船」のような思いに浸り、来し方行く末を考えてみることも、必要というものはないのである。

無事で着いたら便りを

随想

風の松原

風の松原を育てる市民の会は会報第5号を発行するにあたり能代市在住の各界・各層の方々に風の松原に関する「思い」を書いてもらいました。ここに紹介いたします。

浅田 嘉美

「風の松原」羽衣の天衣
なんと詩情豊かに響くネー
ミングでしょうか。その一
言から妖精が漂い瞑想に耽
け入るごとく、誠に味の有
る名称と思いを新たにした
ころです。その昔、松の植
栽に苦難された頃から今日
このような名称を冠される
までの長い時間を「砂防林
は地域の文化」と言えてよ
いと思えます。戦後50年を
目し平和の尊さを重くかみ
しめながら、身近な時代の
役割として喜んで供出さ
れるたものです。ここ能代に
は松の木がふんだんに有る
ことから、飛行機の燃料と
してガソリンになる「油」
即ち「松根油」の生産に微
用された兵隊達がホームス
テリされたのも昨日のよう
に思われます。その松原も
今ではすばらしいネーミン
グのお陰で、市民の憩いの
場として欠かせない存在とな
りました。このように時は
正にネーミングが強く要望
され、そのことが地域社会
に住民に「安心」を得る
意味から自治会にまで無
理なお願いをし募金活動
が展開されたと思いますの
で、その辺の市民感情を踏
まえてなんとかならないもの
かと思えます。

「風の松原」を育てる市民の会は会報第5号を発行するにあたり能代市在住の各界・各層の方々に風の松原に関する「思い」を書いてもらいました。ここに紹介いたします。

「風の松原」に想う

能代営林署長 滝川 忠昭

能代市民が能代を思う時、何をイメージするか、また、能代を離れ他地域で暮らしている方が能代を思い出す時、何が頭に浮んでくるか。多くの人々にとって思えない浮ぶのは「風の松原」ではないでしょうか。

能代市を守り育んできたこの松原。全長14km、幅1km。その規模は全国的にも類例のない雄大な誇りを持っている。また、これ程市街地に近接して造られている松原も全国的にめずらしいに住民に「安心」を得る意味から自治会にまで無理なお願いをし募金活動が展開されたと思いますの

に住民に「安心」を得る意味から自治会にまで無理なお願いをし募金活動が展開されたと思いますの

に住民に「安心」を得る意味から自治会にまで無理なお願いをし募金活動が展開されたと思いますの



（3）市民手作りの「はま

私と風の松原

河井 千代子

宮城県に生まれた私でしたが、夫の勤務の関係で結婚と同時に能代に移り住んで、もう二十三年になります。

出させ、心をなごませてくれた。夫の勤務の関係で結婚と同時に能代に移り住んで、もう二十三年になります。



（1）昇平 尚

「風の松原」

基本方針

後谷地国有林は、能代市民にとっては先人から受け継いできた大きな遺産であり、次代へ引き継いでいかなければならない貴重な財産である。

整備区域

能代海岸の砂防林は、日本海に沿って南は市内浅内から北は市内落合まで約14km、その面積約760haの松林で、そのうち国有林は米代川を境に後谷地

松原の中に街がある

そんな能代に

天野善教

能代がよそに自慢できるもの。風の松原。残念ながら知名度では三保などに一歩譲るが、林の風格、大きさは負けない。

先人の震災では街路の樹が防火帯の役割を果たした。報告されている。能代は道沿に街路樹が少し貧弱だ。道路に、家々の庭に、近頃目立ってきた中心街の空き地に木を植えることを提案

先人の遺業を大切に

斎藤一雄

街は日本海岸線から、安心して生活出来なかった。飛砂が激しく田畑は埋られ、あるいは住居も被害にあい、四年前に五十数年かけて、



車輛通行止めで保護される砂防林

ツと植えて育てて我々に残してくれた風の松原を、私達は森に子孫を残すのだ。そして我々は能代にたまっていても集まって来る。

風の松原を人寄せのための観光資源になどアテセル必要はない。間違っても車を乗り入れる道を作らうなんて考えないことだ。

(能代信用金庫)



松原をぬけると、遠い異国から石炭を積んだ船が入っていた

昔の山道をとりもどそう

金子喜久治

越後屋太郎右エ門、村井久右エ門の両名により男松(黒松)八十万本が植栽され、うち三十万本が活着されたことであつたと思ふ。

その後住人は往時の兩名の苦勞、又飛砂の被害を忘れ切り倒しては燃料その他人的行為によって荒らされ、再度飛砂の被害を受けるようになった。その為今から一七三年前に十四年間かけて加藤景林が黒松七十万本を植栽し、さらに嗣子景翠が父の遺志を継承して三十万本を植栽現在の黒松を令と情ないことか……

(能代生涯学習奨励員)

私たちはこのすばらしい、美しい砂防、保健、の保安の松原であることを市民一人一人が誇りとして、永遠に守り育てなければ出来ないと、波に足を泳がせ、砂浜に身を投げ出し、思い出話を語ってくれたもので

また、清助町周辺の人達は松葉さらにもよくしました。縄、コマザリ鎌など持たされ、祖母の後にトコトコついていきました。

故納谷禮子さんの短歌のこの二句は心から離れることとはありません。

○からからと海風に鳴る枯れよもき馴れたる道に冬の音として

○はまなすの紅も、ごまめの紫も浜屋顔も摘みしかの浜

清助町に生まれ、住む私にとっては、顔にしみつき

今はこの道も笹ヤブと雑草でふさがれ、人が往來し草道とは、また砂浜も水平線の望めない様変わり、当時のおもかげは全くありません。

下浜の人々は、勤め、通学、買物、魚を運んだり必ず通学歴史のある生活の道ではなかつたかと思ひます。道の両側には、強い浜風を受け止め、東側にやが倒れた場所でもありました。

な気がします。今も折を見て、家の裏を通り風の松原に散策に出かけます。

鳥の声が聞こえ、遊具、水辺、散策道が整備され、犬つれて散歩する人、子供たちの声、ベンチに座って語り合うおとしより、市外から訪れる人も多くなったと聞きます。

風の松原は能代の顔の一つになったようです。

よく、トイレ、広場、散策路の清掃奉仕して下さる人を見ます。

然と共存するため、その環境を守るといふ使命があります。

私たち、一人ひとりのいたわりや思いやりの心が有限のなかに無限が顔を出してくれるような気がしてな

りません。

私の望みは、十年近い斗病生活の末、病魔で逝った納谷禮子さんが、生れ育った地に思いをよせて最後に詠まれた思ふ短歌にある、彼女の通った何げないこの山道を昔のようにとりもどし、清助町、下浜から黒松の木立を通り、すでに道が通じている、風の松原に行けたら、何かでふるさとに帰った人たちが含め背を慰びながら、もっと広く能代の松原を満ちてくれるのではないかと思ひます。

附記
納谷禮子さんの歌碑は西光寺墓地
納谷家の墓の横にあります。

能代市民憲章

- わたしたちは、広い日本海、緑の松原と豊かな流れの米代川に恵まれ、港と木材のまちとして築いてきた能代市民です。
 - わたしたちは、この美しい風土と先人の遺業に深く感謝し、明るく住みよいまちを築くために、この憲章をかかげます。
 - 一、自然を愛し、緑をそだて、美しいまちをつくります。
 - 一、健康で、働くことに喜びをもち、活気あるまちをつくります。
 - 一、学ぶ心を育て、薫り高い文化のまちをつくります。
 - 一、家庭を大切にし、心のふれあうあたたかいまちをつくります。
 - 一、きまりを守り、安全で清潔なまちをつくります。
- 平成二年十月一日制定

原稿募集

市民の会では、会報に掲載する原稿を募集しております。

内容は、風の松原に関することなら何でも、投稿は能代郵便局・私書箱2号

「風の松原」事務局へ。

入会歓迎

「風の松原を育てる市民の会」は広く個人、法人(事業所)会員を募集しております。

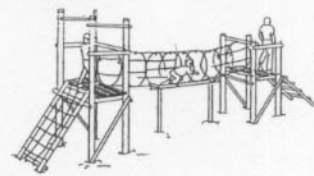
入会希望者は、ハガキに住所、名前、年齢、電話番号を明記の上、能代市上町六りの六「能代郵便局・私書箱2号」風の松原事務局宛 投函下さい。会報を送付致します。会費千円(年間)は総会の際、頂きます。



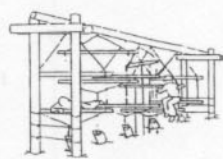
一中から下浜へ、ニセアカシアとの混生林

(一面より)
市が平成六年度に行った風の松原の整備計画とフィールドアスレチックの概略は次の通りです。

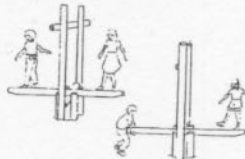
①風のトンネル



②ふりこ橋



③風のやじろべい



④丸太わり



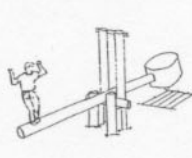
⑤綱つたわり



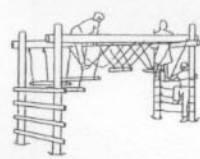
⑥空中散歩



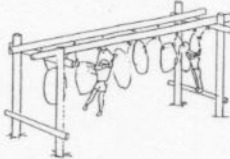
⑦風のこだま



⑧松原ごえ



⑨サルわたり



⑩綱のカーテン



⑪風の松原とび



松 遊

▼湯瀬温泉から安代を通過して松原に至る途中、米代川源流という文字があったが、突然小さな看板が眼下にひらいた。そこは米代川の源流の中で、最も速く流れているので、わざわざ看板をつけたものだろう。誰かがとりつけたのか知る由もないが、米代川の河口の街に住むひととして、川の長さにあらためてびっくりした。と同時に、降雨の際のいわゆる流域面積を思うと、その広大さに言葉失ってしまふ。

▼奥羽山脈、白神山系、森吉山などをとりぬけた有機質を豊富に含んだ水は、流域の畑や田をうるおし、やがて一本の米代川となって日本海にそそぐ。海

▼木村が伐採されたあとに洪水や、あるいは海水、針葉樹の植林による植生系の変化や動物への影響、化学肥料による農地の荒廃や生活排水の汚れと飲料水の汚染、海の漁場の荒廃など

▼能代地域の海岸一帯に砂防林として植えられた黒松は、およそ七〇万本もあると聞いている。植栽にあたって先人たちの苦労は、今日、社会科の副読本に登り、後世に語りつがれようとしている。今や、黒松という本来の重要な意味をもつ呼称があるのに、「風の松原」の名前はつけるべきでない、という意見があっ

たこともうなづける。▼しかし、「風の松原」は、今年、能代海岸砂防林の代名詞として定着した。このようにものを進めていかなければならない。

松原として後世にのこしていくことを、五十年、百年先まで考えながら保護と

▼奥羽山脈、白神山系、森吉山などをとりぬけた有機質を豊富に含んだ水は、流域の畑や田をうるおし、やがて一本の米代川となって日本海にそそぐ。海

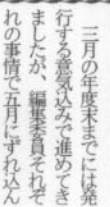
▼木村が伐採されたあとに洪水や、あるいは海水、針葉樹の植林による植生系の変化や動物への影響、化学肥料による農地の荒廃や生活排水の汚れと飲料水の汚染、海の漁場の荒廃など

▼能代地域の海岸一帯に砂防林として植えられた黒松は、およそ七〇万本もあると聞いている。植栽にあたって先人たちの苦労は、今日、社会科の副読本に登り、後世に語りつがれようとしている。今や、黒松という本来の重要な意味をもつ呼称があるのに、「風の松原」の名前はつけるべきでない、という意見があっ

たこともうなづける。▼しかし、「風の松原」は、今年、能代海岸砂防林の代名詞として定着した。このようにものを進めていかなければならない。

松原として後世にのこしていくことを、五十年、百年先まで考えながら保護と

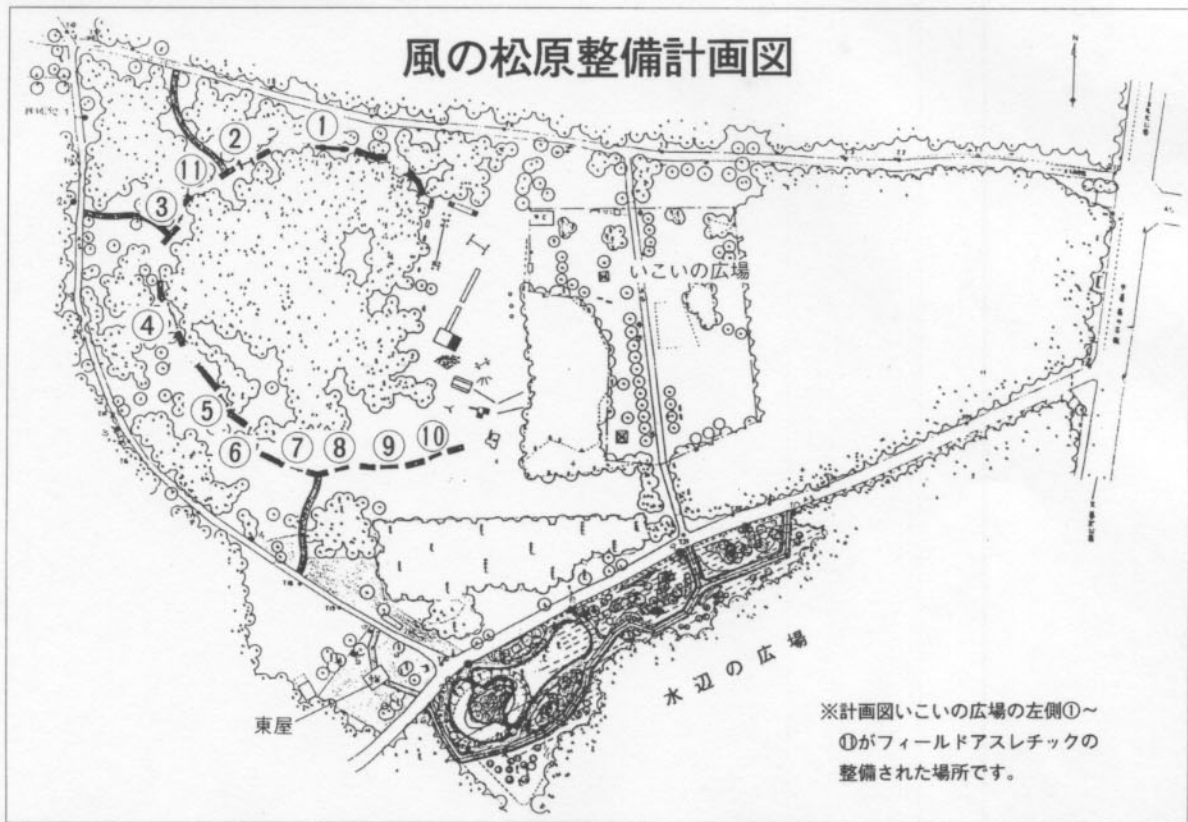
松原として後世にのこしていくことを、五十年、百年先まで考えながら保護と



編集後記

三月の年度末までには発行する意気込みで進めてきましたが、編集委員それぞれ、風の松原の重要性を再認識すると共に、森づくりの木を育てるのは、その

でしまいました。統一地方選挙等、様々な要因があったとはいえ、原稿をお寄せ下さった方々には、本当に申し訳けな思っています。編集を終えて、あらためて、風の松原の重要性を再認識すると共に、森づくりの木を育てるのは、その



※計画図いこいの広場の左側①～⑪がフィールドアスレチックの整備された場所です。